

# 古文ドリル：「奉る」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

## はじめに：「奉る」の正体（3用法）

古文の「奉る」は、**直前が体言か連用形か**、そして**衣服・乗り物・飲食物が対象か**を見れば見分けられます。基本は謙讓語ですが、着る・乗る・食ふの場面では尊敬語になります。

用法	接続・条件	訳	例
① 本動詞・謙讓	体言+奉る	差し上げる／献上する	歌 <b>奉る</b>
② 補助動詞・謙讓	連用形+奉る	～申し上げる	思ひ <b>奉る</b>
③ 本動詞・尊敬	衣服・乗り物・飲食物+奉る	お召しになる／お乗りになる／召し上がる	御衣 <b>奉る</b>

### 識別の鉄則

- 直前が動詞の連用形（申し・思ひ など）→ 補助動詞・謙讓「～申し上げる」。
- 直前が体言で、差し出す物（歌・文 など）→ 本動詞・謙讓「差し上げる」。
- 直前が体言で、衣服・乗り物・飲食物（御衣・御車・御薬 など）→ 本動詞・尊敬「お召しになる／お乗りになる／召し上がる」。
- 「奉る」は基本「謙讓」。着る・乗る・食ふの場面だけ尊敬、と覚える。
- 敬意の方向は**動作の受け手（貴人）への謙讓**（差し上げる相手）。

## 🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

### コツ① まず直前が連用形か体言か

- 連用形+奉る（申し奉る・思ひ奉る）→ 補助動詞「～申し上げる」。
- 体言+奉る → 本動詞。次に「ふつうの物か・衣服乗り物飲食物か」で訳を決める。

### コツ② 体言なら「物」か「衣服・乗り物・飲食物」か

- ふつうの物（歌・文・贈り物）→ 「差し上げる」（謙讓）。

- 衣服（御衣）→「お召しになる」、乗り物（御車）→「お乗りになる」、飲食物（御薬）→「召し上がる」（いずれも尊敬）。

### コツ③ 「奉る」は原則謙譲、着る・乗る・食ふだけ尊敬

- 迷ったら謙譲（差し上げる／～申し上げる）。
- 「お召しになる・お乗りになる・召し上がる」と訳すのは衣服・乗り物・飲食物の場面だけ。

### よくある引っかけ

- 「奉り給ふ」は謙譲「奉る」＋尊敬「給ふ」の二重敬語。
- 「参る」（行くの謙譲＝参上）と「奉る」（与ふの謙譲＝差し上げる）の重点の違い。
- 敬意の方向は動作の受け手（貴人）。動作の主体ではない。

## 採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

## 【第1部】基礎編（Q1～Q20）

本動詞（差し上げる）・補助動詞（～申し上げる）・尊敬（お召しになる等）を見分ける。

### Q1. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

歌奉る。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「歌」は体言（差し出す物）。本動詞で「与ふ」の謙譲＝「歌を差し上げる」。謙譲。

### Q2. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

思ひ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「思ひ」は四段「思ふ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お思い申し上げる」。謙讓。

---

**Q3. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

文奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「文」は体言（差し出す物）。本動詞で「お手紙を差し上げる」。謙讓。

---

**Q4. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御衣」は衣服。「着る」の尊敬＝「お召し物をお召しになる」。尊敬。

---

**Q5. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

申し奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「申し」は四段「申す」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q6. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御車（みくるま）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お乗りになる） **解説：**直前「御車」は乗り物。「乗る」の尊敬＝「お車にお乗りになる」。尊敬。

---

**Q7. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

贈り物奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「贈り物」は体言（差し出す物）。本動詞で「贈り物を差し上げる（献上する）」。謙讓。

---

**Q8. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

見奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「拝見する（見申し上げる）」。謙讓。

---

**Q9. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御薬（くすり）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御薬」は飲食物。「食ふ・飲む」の尊敬＝「お薬を召し上がる」。尊敬。

---

**Q10. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御文（おんふみ）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御文」は体言（差し出す物）。本動詞で「お手紙を差し上げる」。謙讓。

---

**Q11. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

頼み奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「頼み」は四段「頼む」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お頼り申し上げる」。謙讓。

---

**Q12. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御袴（はかま）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御袴」は衣服。「着る」の尊敬＝「お袴をお召しになる」。尊敬。

---

**Q13. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

花奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「花」は体言（差し出す物）。本動詞で「花を差し上げる」。謙讓。

---

**Q14. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

聞こえ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「聞こえ」は下二段「聞こゆ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q15. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御舟（ふね）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お乗りになる） **解説：**直前「御舟」は乗り物。「乗る」の尊敬＝「お舟にお乗りになる」。尊敬。

---

**Q16. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御返り奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御返り」は体言（差し出す物＝返事）。本動詞で「お返事を差し上げる」。謙讓。

---

**Q17. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

仕うまつり奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「仕うまつり」は四段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お仕え申し上げる」。謙讓。

---

**Q18. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）を脱ぎて奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「脱ぎて」の後、改めて「奉る」。物（御衣）を差し出す本動詞で「お召し物を脱いで差し上げる」。謙讓。（着る動作ではないので尊敬ではない。）

---

**Q19. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御冠（かうぶり）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御冠」は衣冠（身につける物）。「着る」の尊敬＝「お冠をお召しになる」。尊敬。

**Q20. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

数珠（ずず）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「数珠」は体言（差し出す物）。本動詞で「数珠を差し上げる」。謙譲。

## 【第2部】標準編（Q21～Q50）

体言か連用形か、ふつうの物か衣服・乗り物・飲食物かを確実に見分ける。

**Q21. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御消息（せうそこ）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御消息」は体言（手紙・便り）。本動詞で「お便りを差し上げる」。謙譲。

**Q22. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

慰め**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙譲「奉る」（～申し上げる） **解説：**「慰め」は下二段「慰む」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お慰め申し上げる」。謙譲。

**Q23. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）かさねて**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御衣」は衣服。「着る」の尊敬＝「お召し物を重ねてお召しになる」。尊敬。

**Q24. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御琴（こと）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御琴」は体言（差し出す物＝楽器）。本動詞で「お琴を差し上げる」。謙讓。

---

**Q25. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

知り奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「知り」は四段「知る」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「存じ上げる」。謙讓。

---

**Q26. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御湯（ゆ）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御湯」は飲み物（白湯）。「飲む」の尊敬＝「お湯を召し上がる」。尊敬。

---

**Q27. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御鏡（かがみ）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御鏡」は体言（差し出す物）。本動詞で「お鏡を差し上げる」。謙讓。

---

**Q28. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

守り奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「守り」は四段「守る」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お守り申し上げる」。謙讓。

---

**Q29. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御直衣（なほし）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御直衣」は衣服。「着る」の尊敬＝「お直衣をお召しになる」。尊敬。

---

**Q30. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御文を書きて**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「書きて」の後、物（御文）を差し出す本動詞。「お手紙を書いて差し上げる」。謙讓。

---

**Q31. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御馬（むま）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お乗りになる） **解説：**直前「御馬」は乗り物。「乗る」の尊敬＝「お馬にお乗りになる」。尊敬。

---

**Q32. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御覽ぜさせ**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「御覽ぜさせ」は連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お見せ申し上げる」。謙讓。

---

**Q33. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御酒（みき）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御酒」は飲み物。「飲む」の尊敬＝「お酒を召し上がる」。尊敬。

---

**Q34. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

玉（たま）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「玉」は体言（差し出す物）。本動詞で「玉を差し上げる」。謙讓。

---

**Q35. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

助け奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「助け」は下二段「助く」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お助け申し上げる」。謙讓。

---

**Q36. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御扇（あふぎ）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御扇」は体言（差し出す物）。本動詞で「お扇を差し上げる」。謙讓。（扇は手に持つ物で、着用の衣服ではないため謙讓。）

---

**Q37. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御沓（くつ）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御沓」は履物（身につける物）。「履く（着る類）」の尊敬＝「お沓をお召しになる」。尊敬。

---

**Q38. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御文を見せ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「見せ」は下二段「見す」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お見せ申し上げる」。謙讓。

---

**Q39. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御料理（れうり）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御料理」は飲食物。「食ふ」の尊敬＝「お料理を召し上がる」。尊敬。

---

**Q40. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御土産（つと）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御土産」は体言（差し出す物）。本動詞で「お土産を差し上げる」。謙讓。

---

**Q41. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

恋ひ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「恋ひ」は上二段「恋ふ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お慕い申し上げる」。謙讓。

---

**Q42. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御帯（おび）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御帯」は衣服（身につける物）。「着る」の尊敬＝「お帯をお締めになる（お召しになる）」。尊敬。

---

**Q43. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御簾（みす）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御簾」は体言（設える物）。本動詞で「御簾を差し上げる（おかけ申し上げる）」。謙讓。（着用物ではないので尊敬ではない。）

---

**Q44. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

いつき奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「いつき」は四段「いつく」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「大切にお世話申し上げる」。謙讓。

---

**Q45. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御果物（くだもの）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御果物」は飲食物。「食ふ」の尊敬＝「お果物を召し上がる」。尊敬。

---

**Q46. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御經（きやう）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御經」は体言（差し出す物・奉納する物）。本動詞で「お経を差し上げる（奉納する）」。謙讓。

**Q47. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

慕ひ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「慕ひ」は四段「慕ふ」連用形。連用形+奉るで補助動詞。「お慕い申し上げる」。謙讓。

**Q48. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御指貫（さしぬき）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御指貫」は衣服（袴の一種）。「着る」の尊敬＝「お指貫をお召しになる」。尊敬。

**Q49. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御琵琶（びは）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御琵琶」は体言（差し出す物＝楽器）。本動詞で「お琵琶を差し上げる」。謙讓。

**Q50. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御湯漬（ゆづけ）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御湯漬」は飲食物（湯漬け飯）。「食ふ」の尊敬＝「お湯漬けを召し上がる」。尊敬。

## 【第3部】 応用編（Q51～Q80）

二重敬語「奉り給ふ」、衣服・乗り物・飲食物の尊敬、紛らわしい文脈を見分ける。

**Q51. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

御文を奉り給ふ。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「奉り」連用形、直前「御文を」（物）で本動詞「差し上げる」。後ろの「給ふ」は尊敬で、謙讓＋尊敬の二重敬語。「お手紙を差し上げなさる」。

**Q52. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）ひきかづき奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「ひきかづき」は四段「ひきかづく」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「(衣を) おかけ申し上げる」。連用形の後なので尊敬ではなく補助動詞の謙讓。

**Q53. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

太刀（たち）奉る。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「太刀」は体言（差し出す物）。本動詞で「太刀を差し上げる（献上する）」。謙讓。

**Q54. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御冠（かうぶり）し奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「し」はサ変「す」連用形（冠す）。連用形＋奉るで補助動詞。「お冠をおつけ申し上げる」。連用形の後なので補助動詞。

**Q55. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御車に乗せ奉る。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「乗せ」は下二段「乗す」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お車にお乗せ申し上げる」。乗せる主語は話し手側なので謙讓。

**Q56. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御単衣（ひとへ）奉る。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御単衣」は衣服。「着る」の尊敬＝「お単衣をお召しになる」。尊敬。

---

**Q57. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御調度（てうど）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御調度」は体言（道具類＝差し出す物）。本動詞で「お道具を差し上げる」。謙讓。

---

**Q58. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

思ひ**奉り**給ふ。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「奉り」は連用形「思ひ」の後で補助動詞「～申し上げる」。後ろの「給ふ」は尊敬で二重敬語。「お思い申し上げなさる」。

---

**Q59. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御車**奉り**て出づ。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お乗りになる） **解説：**直前「御車」は乗り物。「乗る」の尊敬＝「お車にお乗りになって出る」。尊敬。

---

**Q60. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

申し上げ**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「申し上げ」は連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「申し上げる」。謙讓。

---

**Q61. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衣（おんぞ）を縫ひて**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「縫ひて」の後、物（御衣）を差し出す本動詞。「お召し物を縫って差し上げる」。着る動作ではないので謙讓。

---

**Q62. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御念誦（ねんず）し**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「し」はサ変連用形（念誦す）。連用形＋奉るで補助動詞。「お祈り申し上げる」。謙讓。

---

**Q63. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御菓子（くわし）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御菓子」は飲食物。「食ふ」の尊敬＝「お菓子を召し上がる」。尊敬。

---

**Q64. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御琴を教へ**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「教へ」は下二段「教ふ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お教え申し上げる」。謙讓。

---

**Q65. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

砂金（さきん）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「砂金」は体言（差し出す物）。本動詞で「砂金を差し上げる（献上する）」。謙讓。

---

**Q66. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御小桂（こうちき）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御小桂」は衣服。「着る」の尊敬＝「お小桂をお召しになる」。尊敬。

---

**Q67. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御文持ちて**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「持ちて」の後、物（御文）を差し出す本動詞。「お手紙を持って差し上げる」。謙讓。

---

**Q68. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

仕へ**奉り**けり。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「仕へ」は下二段「仕ふ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お仕え申し上げた」。謙讓。

---

**Q69. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御衾（ふすま）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御衾」は寝具（かける物）。本動詞で「お夜具を差し上げる（おかけ申し上げる）」。着用物でないので謙讓。

---

**Q70. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御船（ふね）に**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お乗りになる） **解説：**直前「御船に」は乗り物。「乗る」の尊敬＝「お船にお乗りになる」。尊敬。

---

**Q71. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御祈り申し**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「申し」は連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お祈り申し上げる」。謙讓。

---

**Q72. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御櫛（くし）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御櫛」は体言（差し出す物）。本動詞で「お櫛を差し上げる」。謙讓。

---

**Q73. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御桂（うちぎ）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御桂」は衣服。「着る」の尊敬＝「お桂をお召しになる」。尊敬。

---

**Q74. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御杖（つゑ）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御杖」は体言（差し出す物）。本動詞で「お杖を差し上げる」。謙譲。（手に持つ物で着用物ではないため謙譲。）

---

**Q75. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

守りいつき**奉り**て。

**答え：**補助動詞・謙譲「奉る」（～申し上げる） **解説：**「いつき」は四段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「大切にお世話申し上げて」。謙譲。

---

**Q76. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御湯（ゆ）など**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**直前「御湯など」は飲み物。「飲む」の尊敬＝「お湯などを召し上がる」。尊敬。

---

**Q77. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

黄金（こがね）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「黄金」は体言（差し出す物）。本動詞で「黄金を差し上げる（献上する）」。謙譲。

---

**Q78. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御直垂（ひたたれ）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御直垂」は衣服。「着る」の尊敬＝「お直垂をお召しになる」。尊敬。

---

**Q79. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御念仏（ねんぶつ）申し**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「申し」は連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お念仏を申し上げる」。謙讓。

---

**Q80. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御帳（とばり）**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**直前「御帳」は設える物（垂れ幕）。本動詞で「御帳を差し上げる（おかけ申し上げる）」。着用物でないので謙讓。

---

## 【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

---

文脈・対象を総合して、本動詞（差し上げる）・補助動詞・尊敬を判別する。

---

**Q81. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

帝に琴を**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「琴を」が直前。本動詞で「帝にお琴を差し上げる」。謙讓。

---

**Q82. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

上、御衣（おんぞ）**奉り**て出でさせ給ふ。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**主語「上」（帝）、対象「御衣」（衣服）。「着る」の尊敬＝「お召し物をお召しになって」。尊敬。

---

**Q83. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

後に文を**奉り**給ふ。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「奉り」連用形、直前「文を」（物）で本動詞「差し上げる」。「給ふ」は尊敬で二重敬語。「后にお手紙を差し上げなさる」。

**Q84. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

あけくれ思ひ**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「思ひ」は四段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「明け暮れお思い申し上げる」。謙讓。

**Q85. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御冠（かうぶり）し、御袍（ほう）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御袍」は衣服（正装の上着）。「着る」の尊敬＝「お袍をお召しになる」。尊敬。

**Q86. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御念誦の数珠を**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「数珠を」が直前。本動詞で「お念誦の数珠を差し上げる」。謙讓。

**Q87. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

いとほしと見**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「見」は上一段「見る」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「気の毒だと拝見する」。謙讓。

**Q88. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御薬を強ひて**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**「御菓」は飲み物（菓）。「飲む」の尊敬＝「お菓を無理にでも召し上がる」。尊敬。

---

**Q89. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

君に御衣を縫ひて**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**「縫ひて」の後、物（御衣）を差し出す本動詞。着る動作ではないので「お召し物を縫って差し上げる」。謙讓。

---

**Q90. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

御供に仕へ**奉り**けり。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「仕へ」は下二段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お供としてお仕え申し上げた」。謙讓。

---

**Q91. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御前に花を**奉る**。

**答え：**本動詞・謙讓「奉る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「花を」が直前。本動詞で「御前に花を差し上げる」。謙讓。

---

**Q92. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御くだもの**奉り**などして。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**「御くだもの」は飲食物。「食ふ」の尊敬＝「お菓物を召し上がるなどして」。尊敬。

---

**Q93. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御馬に**乗せ奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「乗せ」は下二段「乗す」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「お馬にお乗せ申し上げる」。乗せる主語は話し手側で謙讓（貴人自身が乗る尊敬の「御馬奉る」と区別）。

---

**Q94. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御料（れう）の御衣（おんぞ）**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**直前「御衣」は衣服。「着る」の尊敬＝「ご料のお召し物をお召しになる」。尊敬。

---

**Q95. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御志（こころざし）深く頼み**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙譲「奉る」（～申し上げる） **解説：**「頼み」は四段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「真心こめてお頼り申し上げる」。謙譲。

---

**Q96. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

宝物（たからもの）を**奉る**。

**答え：**本動詞・謙譲「奉る」（差し上げる） **解説：**差し出す物「宝物を」が直前。本動詞で「宝物を差し上げる（献上する）」。謙譲。

---

**Q97. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御湯殿（ゆどの）にて御湯**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（召し上がる） **解説：**「御湯」は飲み物（または浴用だが、ここは飲む文脈）。「飲む」の尊敬＝「お湯を召し上がる」。尊敬。

---

**Q98. 次の傍線部「奉り」を識別せよ。**

御几帳（きちやう）引き寄せ**奉り**て。

**答え：**補助動詞・謙譲「奉る」（～申し上げる） **解説：**「引き寄せ」は下二段連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「御几帳を引き寄せ申し上げて」。謙譲。

---

**Q99. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。**

御身に御衣を**奉る**。

**答え：**本動詞・尊敬「奉る」（お召しになる） **解説：**「御衣」は衣服で、貴人がお召しになる文脈。「着る」の尊敬＝「お身にお召し物をお召しになる」。尊敬。

---

### Q100. 次の傍線部「奉る」を識別せよ。

はるかに恋ひ**奉る**。

**答え：**補助動詞・謙讓「奉る」（～申し上げる） **解説：**「恋ひ」は上二段「恋ふ」連用形。連用形＋奉るで補助動詞。「はるかにお慕い申し上げる」。謙讓。

---

## 採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「奉る」の**直前の語**と**対象**をもう一度確認しましょう。

- **本動詞・謙讓**「差し上げる」…体言（ふつうの**物**）＋奉る。「歌奉る」「文奉る」。
- **補助動詞・謙讓**「～申し上げる」…**連用形**＋奉る。「思ひ奉る」「申し奉る」。
- **本動詞・尊敬**「お召しになる／お乗りになる／召し上がる」…**衣服・乗り物・飲食物**＋奉る。「御衣奉る」「御車奉る」「御菓奉る」。
- 「奉る」は原則謙讓、着る・乗る・食ふの場面だけ尊敬。

直前の語を見るだけで一瞬で見分けられます。敬意の方向（受け手＝貴人への謙讓）も合わせて押さえましょう。

---

この問題集は無料です。古文の他の敬語（給ふ・参る・侍り候ふ）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

**誰でも古典塾** (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太